

東地申
第4号

「駅派出検査体制等の見直しについて」に関する申し入れ

団体交渉を行う④

③ から続く

東京・新宿派出2項 新規担務者に対する教育は、各派出の対応線区の特情に応じて、机上教育と現車教育を事前に行うこと。また、対応線区に変化がある場合の教育についても担務者全員に都度実施すること。

回答) 引き続き、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組合) 定例の教育はあるのか。機器更新など、車両に変化がある場合の教育は現車、現物を使用するのか。

会社) 現車教育と机上教育を行っていく。変化の場面では、業務連絡や業務指示書などにより周知を図っている。

確認事項 対応線区の車両等に変化が生じた際には都度周知や教育を行う。

輸送障害に大きく影響しやすい「ドア」に関する教育についての重要性和必要性の認識は一致する。

東京・新宿派出3項 コアタイム以外の対応可能時間帯について、運用指令が把握できるようにすること。

回答) 運用指令との情報共有は実施しているところである。

会社) 品川派出発足前に、運用指令との間で派出担務者が対応できるかどうかわかるような Teams のプラットフォームをつくった。新宿派出・東京派出に関しても同様に行っていく。

東京・新宿派出4項 広範な社員が日替わりで派出業務を担うことになるため、派出業務をサポートする体制を強化すること。

回答) 引き続き、必要な対応は実施していく考えである。

組合) 現在考えている内容についてあれば示していただきたい。

会社) 対応のポイントとなるショート動画の作成と、他派出への展開についても検討していく。

組合) 運用指令は運転整理も行いながらとなるため、体制の強化が必要ではないか。

会社) 運転整理もあるが、派出との対応が行えるようにしていく。

我孫子1項 融合を行う本区業務を具体的に示し、教育の計画を示すこと。

回答) 技術管理業務全般や臨時修繕業務等であり、施策実施に向けて、必要により教育を実施していく考えである。

組合) 臨時修繕に関して、提案以降で具体的な業務内容が決まっていれば示していただきたい。

会社) 我孫子派出構内にて、バッテリー取替等の臨時修繕業務を行う。我孫子の検修当直と作業を打ち合わせ、ホーム検査2人1ペアとして作業を行う。物品の受払いや運搬は本区側にて対応する。

組合) 計画業務に関して、具体的な業務内容について示すこと。

会社) 施策開始時点では、我孫子派出構内にて、

① パンセンサのデータ入力作業

② 転削実績の車両管理システム入力

③ 仕業検査実績入力(我孫子電留施行分)

を行ってもらう計画である。

組合) パンセンサのデータ入力作業の目的は何か。

会社) 松戸車セ本区にはパンセンサが無く、我孫子電留入区時のパンセンサデータをもとに、見越しで消耗状態の管理を行っているためである。